

令和2年3月18日
国土交通省
山形河川国道事務所

国道47号高屋地区防災技術検討会の結果について
～別線バイパスルートでの対策が妥当～

戸沢村高屋地区の国道47号は、豪雨時の浸水、土砂流出や降雪期の立ち往生により通行止めが発生する等、防災上や幹線道路機能上、課題の多い区間であり、その課題解消に向け有識者による「国道47号高屋地区防災技術検討会※1」において対策案を検討し、以下のとおりとりまとめましたのでお知らせいたします（持ち回り会議※2）。

【主な議論内容】

- 現国道47号の課題を解消し、安定的な道路交通を確保するためには、現道対策（かさ上げや法面対策等の改良）では、沿道集落や近接するJR陸羽西線へ与える影響が大きいため、別線バイパスルートによる整備が妥当と判断。
- 検討した別線バイパスのルートは、浸水想定区域や地すべり危険地区等を盛土やトンネル等の構造により回避しており、安全性が確保されているため、ルート・道路構造は妥当と判断。

※1「国道47号高屋地区防災技術検討会」

■委員（有識者）

風 間 聡	東北大学大学院工学研究科教授
京 谷 孝 史	東北大学大学院工学研究科教授
吉 田 朗	東北芸術工科大学教授

※2 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会議形式を中止し、各委員に対し事務局にて個別説明、書面での審議を実施

<発表記者会：山形県政記者クラブ>

【 問 合 せ 先 】

国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所

道路担当）副所長 石 井 真 吾 TEL 023-688-8421(代表) (内線205)

調査第二課長 渡 辺 央 (内線451)

とぎわむら たかや 国道47号戸沢村高屋地区 検討対象区間 位置図

- 平成30年8月に、2回の豪雨災害(H30.8.5-6、H30.8.31)により、高屋道路・新庄古口道路の並行区間において、最大で約15時間の全面通行止めが発生(事前通行規制含む)
- 豪雨により路面冠水や土砂災害が発生し、通行止めとなり角川地区が孤立
- 幹線道路である国道47号が長時間通行止めとなったが、新庄古口道路は部分開通しており、迂回路の一部として活用



▲国道47号の被災状況 (土砂流出)



▲(主)戸沢大蔵線の被災状況 (冠水)



▲国道47号の立ち往生発生状況

【凡例】	
	検討対象区間
	国道(開通済)
	国道(事業中)
	県道・主要地方道
	通行規制区間
	H30.8豪雨 被災箇所
	H30.8豪雨 浸水発生地区
	H31.1 立ち往生発生箇所

とざわむら たかや 国道47号戸沢村高屋地区 別線の詳細について

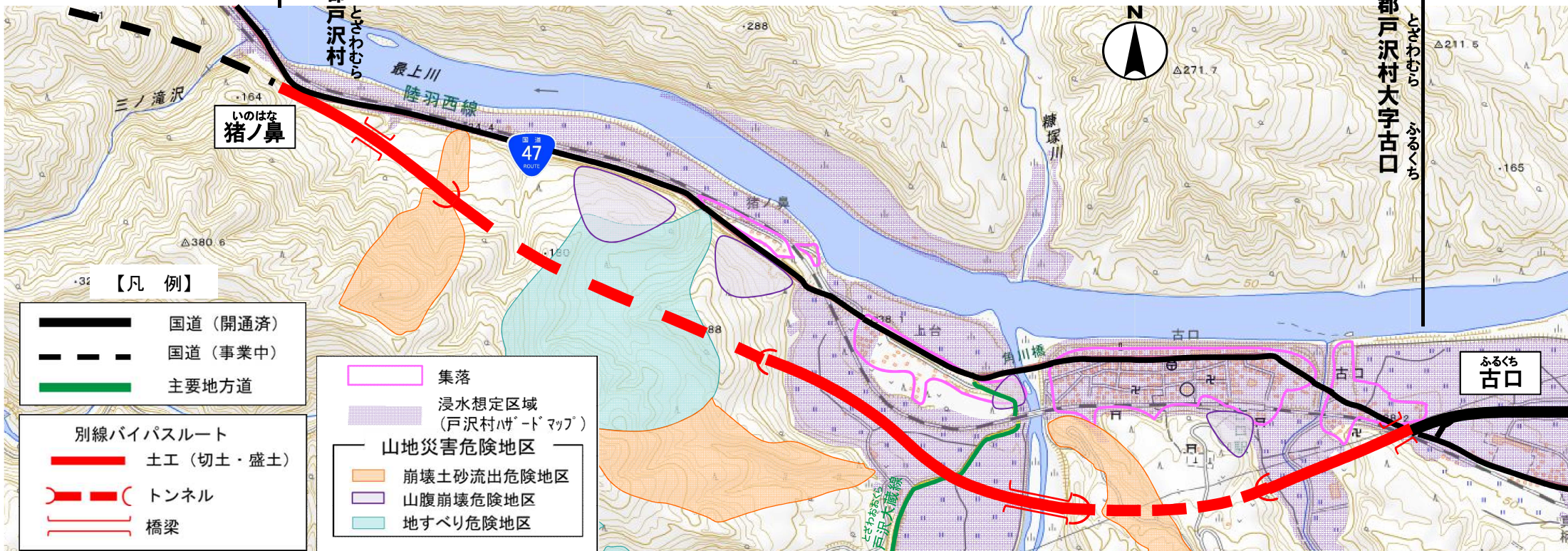
たかや
高屋道路（事業中）
延長3.4km

別線バイパスルート 延長 約4.4km

（起）
新庄古口道路
延長10.6km
（一部事業中）

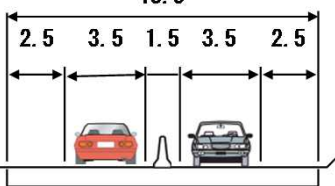
（終）
山形県最上郡戸沢村
大字古口

山形県最上郡戸沢村大字古口

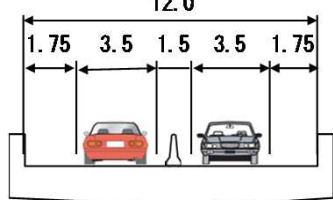


【標準横断面図】

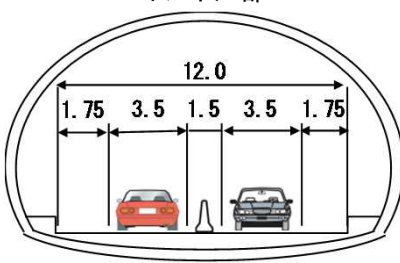
土工部
13.5



橋梁部
12.0



トンネル部
12.0



出典：地理院地図に、道路情報、地名等を追記して掲載

■「別線バイパスルート」の概要
 区 間：山形県最上郡戸沢村古口
 ～山形県最上郡戸沢村古口
 延 長：約4.4km
 車線数：2車線（自動車専用道路）
 事業費：約150億円